

令和2年度 第2回安曇野市スポーツ推進委員会全体会議 会議概要

1	委員会名	安曇野市スポーツ推進委員会
2	日 時	令和2年11月30日(月) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	安曇野市役所本庁舎4階 大会議室
4	出席者	(豊科地域) 望月(健)、丸山(義)、石川 (穂高地域) 眞嶋、細野、水口、二見、巢山、越原 (三郷地域) 松田、布山、岡里 (堀金地域) 下川、加々美、浅野、一志、井澤 (明科地域) 赤羽、遠藤、丸山(繁) ※敬省略 ※出席委員総数：20人
5	欠席者	望月(武)、逢澤、増澤、久根下、齋藤、丸山(美)、古畑、石田、丸山(俊)、小林
6	市側出席者	生涯学習課長(臼井)、スポーツ推進担当 係長(杉浦) スポーツ推進担当(日高)
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	0人 記者 0人

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 講演「コロナ禍の中でのスポーツ教室や大会運営における注意点等」
(日本赤十字社長野県支部 丸山様)
- (3) 会長からの報告事項
- (4) グループ討論
 - ア 高齢者スポーツ
 - イ 安曇野色を出したニュースポーツ
 - ウ スポーツ推進委員の広報
- (5) 閉会

2 講演の概要

「コロナ禍の中でのスポーツ教室や大会運営における注意点等」

- (1) 感染予防の目的
 - ・命を守る、健康を守る、尊厳を守る。
- (2) 感染症対策
 - ・ウイルスを“持ち込まない”“持ち出さない”“拡げない”。
- (3) 感染予防
 - ・三密の回避、マスク着用、手洗い
- (4) 指導者が注意するポイント
 - ・自身の健康管理、マスク着用(プレー中以外の)、手洗い、距離の確保、大きな声での会話や声援を控える、飲食物の取り方、ごみの処理。

3 グループ討論の概要

(1) 高齢者スポーツ

- ・各地区の活動ではなく、市全体の活動として考えていくことが前提になる。
- ・各委員が何のスポーツを指導できるか、どんな資格をもっているかを把握し、情報発信していく必要がある。
- ・高齢者のコミュニティ、例えば公民館の活動等に出前講座として取り入れてもらい、活動を広げていくことが有効ではないか。

(2) 安曇野色を出したニュースポーツ（令和4年度県の協議会の題材として）

- ・費用、会場、怪我のリスク等を考慮すると、ボッチャ、ウォーキング、ワンバウンドふらば～るバレー、コーディネーショントレーニング、マレットゴルフ（雨天時はスポーツカフェ等検討）が候補として考えられる。ボッチャは過去に取り上げていないので良いのではないか。
- ・過去に他の市町村が取り上げた競技にする場合でも、安曇野独自のローカルルールを決めて、多くの人を楽しめる内容に工夫すれば良いのではないか。
- ・分科会として講演会を行うのも良い。
- ・過去に好評だった講演会について、全体会で開催するのはどうか。

(3) スポーツ推進委員の広報

- ・媒体としては、市の広報、公民館を通じた広報、市民タイムス、SNS等様々考えられる。
- ・（スポーツ推進委員会として）市の生涯学習リーダーバンクへ登録する。
- ・広報をするにあたり、どのような内容を広報していくのかを考える必要がある。スポーツ推進委員会はどんな組織で、何ができるのかを検討した上で、情報発信していくこと。
- ・地域単位での活動も必要だが、市全体に発信していくことが必要になってくる。
- ・新総合体育館ができるので、そこでイベントを開催する。体育館の掲示板を活用する。

(4) まとめ

- ・本日協議した内容について、各地域でさらに話し合いを重ねていくようお願いしたい。このような状況（コロナ禍）ではあるが、できることから始めていきたい。